

# 子どもは大人のパートナー

— 弁護士お母さんの子育て新発見 —

講師： 弁護士 坪井節子氏

と き・2002年11月10日(日) 10:30～15:30

と ころ・馬出小学校体育館 (講演)

分科会：馬出小学校体育館、九州大学医療技術短期大学講義棟

主催：福岡県保育センター

後援：福岡県・福岡市・福岡市教育委員会

\* / \* お問い合わせ \* / \*

福岡県保育センター 福岡市中央区大名1-10-25-506

TEL 092-761-5234 FAX 092-781-1995

URL: <http://homepage2.nifty.com/JONET/tsudo/>

## 子育て

それは、親と子がそれぞれ一人ひとりの人間として

尊敬しあいながら、

ともに生きるということ。

私には、子どもを先導する事も

後押しする事もできないけれど、

その歩みを傍らで見守り、

喜びや悲しみを分かち合い、

必要とされるときに

手を差し伸べることもなりました。

そして、いつか私も育てられ、励まされていたのです。

それが私の新発見。

私  
は  
生  
ま  
れ  
て  
一  
五  
年  
親  
も  
親  
に  
な  
り  
一  
五  
年  
ど  
ち  
ら  
も  
未  
熟  
で  
す

「著書：弁護士お母さんの子育て新発見—暮らしのなかの子どもの人権—」より抜粋

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

「あなたのことは、  
あなたがいちばんよく知っているんだから  
話してみて。  
そして、もし、  
あなたが私の助けを必要とするならば、  
協力するから」

私とあなたは対等なパートナー  
というスタンスで  
子どもたちに接し始めたとき、  
子どもたちは少しずつ自分を語り出し、  
どんどん元気になっていったのです。  
(坪井節子著書より抜粋)

午前の部：分科会

分科会：子育て講座1・子育て講座2・作って遊ぼう・  
絵本の読みきかせ・炭坑節を踊ろう！・  
女の子育て vs 男の子育て ほか

午後の部：記念講演

東京弁護士会子どもの人権救済センター 坪井節子氏

参加費：会員前売り 1,500円

学生 1,000円

会員外・当日 2,000円

保 育：子どもひとり 500円 (要予約・おやつ付)

お弁当：予約制 500円

午後の部 (10:30~12:00)

会場は子育て講座1のみ馬出小学校体育館。他はすべて医療短期大学講義棟

「子育て講座1」：～親子で遊ぼう～ (馬出小学校体育館)

講師に福岡教員養成所の古賀由美子さんをお迎えします。

親子で一緒に、広い空間の中でたっぷりと体を動かして、心と体のリフレッシュしませんか？！

保育士の参加もお待ちしております。

「子育て講座2」：生きる力を育むおもちゃ ～ぼくらの宝物～

おもちゃ屋の「つみきやペロル」の原田隆さんに来ていただきます。

どんな物が本当に大切なおもちゃなのか学んでいろいろなおもちゃでおとなも子どももいっぱい遊ばしましょう！

保育園でのつみきあそびのビデオ鑑賞もあります。

「作ってあそぼう」：

昨年に引き続き、保育園などで使っている手づくりおもちゃを作ったり、紹介したりします。材料費がかかりますので、ご用意ください。

「絵本の読みきかせ」：～絵本から広がる子どものあそび～

五味太郎／作『きんぎょがにげた』の絵本をもとに実践の報告や、読みきかせの実技などいろいろ行います。ぜひ、お母さんたちも参加してくださいね。

「炭坑節を踊ろう！」：

福岡の文化を伝承し末代まで伝えましょう。

力強くたくましい炭坑節こそ福岡の起源なり！

「女の子育て vs 男の子育て」：～女と男の「異文化理解」～

子育ては、子どもを中心に置いて様々な人が関わっていくものですが、基本の家庭での子育てはどうなっていますか？父親の育児参加は現実的にはできているのでしょうか？

男と女の間の認識の差など意見を出し合って、相互理解、平和な解決策のきっかけをつくりたい分科会です。

男性の参加を歓迎いたします。

「今日の保育情勢と私たちの課題」：

規制緩和と市場化路線による構造改革が、一気に加速しています。今、幅広い人々との手つなぎが必要です。保育・子育ての実態を交流しあいましょう。

午後の部 (13:00~15:30)

記念講演：子どもは大人のパートナー — 弁護士お母さんの子育て新発見 —

講師：坪井節子 (つばいせつこ)：弁護士

1953年東京生まれ。1978年早稲田大学第一文学部卒業。

1980年弁護士登録。1987年より、東京弁護士会子どもの人権救済センター

日本弁護士連合会子どもの権利委員会などにおいて、「非行」少年の付添人活動や学校・家庭・福祉の現場での子どもの人権救済活動に携わる。

1988年「検察官関与に反対!少年法を考える市民の会」を発足させ、事務局を勤める。現在、夫・2女1男。学生時代の演劇部活動の経験を生かし、弁護士と子どもがつくる

芝居「もがれた翼」シリーズに娘たちと一緒に取り組む。講演多数。

子どもたちに対等に寄り添い、あたたかく歯切れよい語り口で親たちを励ます。

著書「子どもは大人のパートナー」「子どもの人権双書①家庭の崩壊と子どもたち」

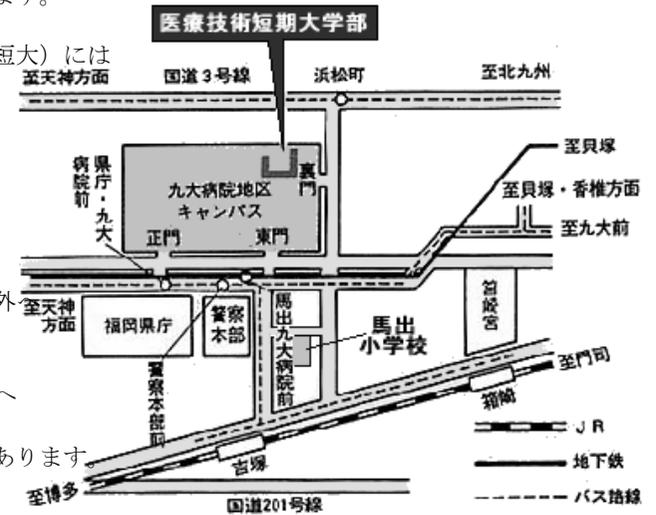
「子どもの人権双書⑧子どもたちの性」「アジアの舐まれる子どもたち」など

公共交通機関のご利用をお願いします。

九州大学医療技術短期大学 (医療短大) には車の乗り入れはできません。周辺のコイン駐車場などをご利用ください。

地下鉄：馬出九大病院前駅下車  
バス：警察本部前下車

馬出小学校：地下鉄は3番口より外へ徒歩1分  
派出所裏手になります。  
医療短大：地下鉄は1番口より外へ徒歩10分  
大学構内に入ると、看板表示があります  
その表示に従ってお越し下さい。



保育・弁当などの予約はお早めに！

きりとりせん

申込書

所属：

氏名：

連絡先：

電話

参加費 1,500円 弁当 500円 保育 500円× 人= 円  
(学生 1,000円、会員外 2,000円)